

平成23年7月28日

氷見市総合計画審議会

会長 石出宗秀様

暮らしづくり部会長 山岸教男

氷見市総合計画審議会暮らしづくり部会の意見等について（報告）

5月11日の本部会における審議結果を、下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 保健・医療・福祉について

- (1) 心身の健康の保持・増進、地域医療の充実についての計画策定に当たっては、医師会、市民病院等と連絡を密にすること、また、医療機能の分担と連携については、病院間の機能分担ではなく、一次医療・二次医療の分担と連携を重視し、さらに市医師会、県、県医師会と一体となり、地域に根ざした医療政策を推進することを求めます。
- (2) 精神疾患については、高齢者・少子化対策に比べて関心が薄く、また市内に医療機関が少ないことから、理解を促進し、自立支援の面からも充実させていくことを求めます。
- (3) 障害者の家族にも高齢化が進んでおり、障害者の家族が病気になったときを含めた、住む場、働く場、日中過ごせる場を創出する支援体制づくりを進めることを求めます。

### 2 生活安全について

- (1) 防災面での「安全」はもとより、コミュニティの再生や空き家の利活用促進、生活支援を必要とする人へのサービス体制の確立等、「安心」して生活できる環境づくりを推進することを求めます。
- (2) 足の弱い高齢者など住民のニーズや、それぞれの地区の事情に合った買い

物・外出支援システムを構築していくことを求めます。

- (3) 一人暮らしの要支援者を孤独にしないために、常に情報を得、速やかな支援ができるシステムを構築することを求めます。
- (4) 子ども、女性、高齢者、障害者など誰もが虐待被害や不利益を被ることなく、それぞれの人権が尊重され、また成年後見制度について周知されることを求めます。
- (5) 空き家等の利活用については、氷見に来て良かったと思っていただけるよう、きめ細かな対応を求めます。

### 3 環境について

- (1) 山林・農地の荒廃が災害や自然環境の破壊をもたらすという視点から、住民の高齢化や減少などにより、耕作放棄地や山林の荒廃が増加していることを踏まえ、農林業担い手の育成や支援体制を強化することを求めます。
- (2) 大震災の影響もあり、代替エネルギーが注目を浴びていることから、太陽光発電システムなどの利用を促進する施策の拡充を求めます。

### 4 都市基盤について

- (1) 魅力ある施設をつくるのみでなく、これらをいかにマネジメントするかが重要です。これらの価値や魅力を全国に紹介するため、強力に情報発信を進めていくことを求めます。
- (2) 側溝の泥上げの際、高齢化する住民に重いコンクリートの蓋を上げられないなどの事例が増えていることから、改修時の工法等の創意工夫や、自治会全体で協力して作業することが必要です。地域と行政、受益者の役割分担を考慮していくことを求めます。

### 5 部会の所管事項全体について

- (1) 第8次総合計画の策定に当たっては、前回の総合計画で既に取り組みされている事業をただ引き継ぐのではなく、今回の計画策定で盛り込んで推進可能な事業、採用できない事業を明確にした上で取り組むことを求めます。

### 6 その他

- (1) 全国的にも有名な氷見ブリの他に、年中売り出せる「食」の分野を、民間活力を生かして研究・開発し、食文化の発信を強力に推し進めることを求めます。